



コスモジャーナル



2024年^{ねん}8月^{がつ}



にほんごきょうしつ ^{がくしゅうしゃ} ^し ^{こま}
日本語教室の学習者が知りたいこと 困っていること

あしや まち ^{とお} ^{なまえ}
芦屋の町や 通りの名前について (1)

^{うちで} ^{こづちちよう} ^し ^{なまえ}
Q 打出小槌町のことを知りたいです。この名前はどのようにつけられましたか?

^{うちで} ^{てんじんじゃ} ^{おきもの} ^{なん}
Q 打出天神社でこのような置物がありました。これは何ですか?



^{ふる} ^{つた} ^{つき} ^{はなし}
A 古くから伝えられている次のような話があります。



^{うちで} ^{むら} ^{かねも} ^{ひと} ^{ちようじゃ} ^す ^{ちようじゃ} ^{ちい} ^{つち}
むかし 打出村に お金持ちの人(長者)が 住んでいました。長者は 小さい槌を

もっていました。その槌を ^{つち} ^{ねが} ^{たからもの}
ふると、願いごとが なんでもかなうという 宝物でした。

^{つち} ^{うちで} ^{うみ} ^す ^{りゅう} ^{かみさま} ^も ^{つた}
この槌は もとは 打出の海に 住んでいた 竜の神様が 持っていたものだ と 伝えら
れています。

^{りゅう} ^{かみさま} ^{にんげん} ^{すがた} ^{みやこ} ^{てんのう} ^い
そして 竜の神様が 人間の 姿になって、都の天皇に あげたと 言われています。

どのようにして 長者が 手に入れたか わかりません。むかし 都で 働いていた

とき、いい仕事をしたので ほうびとして もらったのだらうと 言われています。

この小槌は とてもいい 宝物でした。ただ一つ 困ったことに、鐘の音が 聞こえて

くると、それまで 打ち出した宝物の すべてを 失ってしまうそうです。

—「宝船 作る 打出の 小槌かな」

江戸時代 1680年に このような歌がつくられています。

—打出の地名は 打出の小槌の 伝説から つけられたという説が あります。

—この土地は 京都から西国街道*を 通って 初めて 海に「打ち出る」 ところです。

そのため 地形から 名前を つけたという 説も あります。

*西国街道：京都から 西国(下関、九州)までの 江戸時代の 道路のこと。

参考資料：芦屋子ども風土記 伝説・物語 (芦屋市教育委員会 1992年3月発行)

芦屋かるた (芦屋かるた制作委員会 2005年1月発行)

発行：芦屋市立 潮芦屋交流センター

(指定管理者：NPO法人芦屋市国際交流協会)

〒659-0035 芦屋市海洋町 7-1

TEL：0797-25-0511

FAX：0797-25-0512

<http://www.ashiya-sec.jp>